

東大和市 リアルタイム事務事業評価調書①

【 庁内ネットワーク環境の再構築 事業 】 記入日 令和 5 年 10 月 10 日

基 本 情 報 (A・B)

A) 施策、根拠法令等

担当部署	部	総務部	課	デジタル政策課	係	企画推進係		
基本施策	行財政運営					事業種別		補助・助成を受けている業務
						継続・新規		継続して実施している事業
分野別施策	行財政 - 1 行財政運営、行政改革【重要施策】							事業予算額
	-							43,736 千円
展開方向	☐ 市民サービスの質の向上と効果的・効率的な行財政運営の推進					予算科目	会計 一般会計	
	☐ より一層の行政改革の推進						款 2 総務費	
	☒ デジタル化の推進						項 1 総務管理費	
根拠法令等 (あれば)						目 10 電算管理費		
						事業番号		1

B) 事業内容・対象

市の魅力向上に寄与する事業		人口減少抑制に寄与する事業		
事業概要 (何をする事業か)	令和6年12月から、L GWAN接続系の端末でインターネットを利用可能とし、庁内に無線LAN環境を整備することにより、職員の業務の効率化を図るとともに、職員が職務に関して積極的に情報収集や学習をすることができる環境を整備する。			
事業の対象	職員			

現年度(令和5年度)に実施中の事業について(C・D・E・F)

C) 目標・目指す状態

※市民意識調査の結果を目標値にはできません（施策評価の目標であるため）。

※「〇〇意識を高める」「理解を深める」等といった成果が測れないものは不可とします。必ず効果が数値化できる目標にしてください。

目標・目指す状態		単位	目標数値
①	公募型プロポーザルの実施による委託事業者の決定	—	—
②	調達機器等の決定	—	—
③			

D) 前年度と変更した点がありますか？

※事業の実施を経て、見直し、解決すべきだと考えたことを元に変更した点

☐ 有	変更した点→	庁内ネットワーク環境の改善については、継続して実施している事業であるが、今回のインターネット利用及び無線LAN環境の整備は新規に行うものであるため。
☒ 無	無の理由→	

E) 見直し状況

※変更（見直し）については、どの程度進んでいますか

F) 令和5年度中の進捗状況(予定含む)		※進捗状況はなるべく時系列に沿って記入してください。		
①	6月	委託事業者選定のための公募型プロポーザルの開始		
②	8月	委託事業者の選定		
③	9月	選定事業者との委託契約の締結		
④	(以降予定)			
⑤	10月	他のシステム会社との調整		
⑥	11月	調達機器等の決定		
⑦	12月以降	ネットワークの詳細設計の実施		
⑧				
⑨				
⑩				
⑪				
⑫				

東大和市 リアルタイム事務事業評価調書②

【 庁内ネットワーク環境の再構築 事業 】 記入日 令和 6 年 3 月 28 日

実績報告・事業分析

A) リアタイ評価会議での意見・助言等

①

当該事業については、意見や創意工夫を入れる余地があまりない事業のため、評価には向いていない。

②

目標欄については、最終目標（〇年度までに〇〇の状態）を設定する必要がある。

③

最終目標を設定した上で、年度ごとの目標を立てていくべきではないか。

④

システムを導入するだけでなく、そのシステムを「どう使っていくか」「職員のスキルアップ」という人材育成の観点も含めて、職員課を加えて検討してほしい。

⑤

B) 上記意見を受けて、対応したもの 及び 参考としたもの

上記④を受けて、今年度策定した東大和市DXプランにおいて、庁内インターネット環境の改善を受けて、「職員が最新の情報を知り、行動に移していくこと」の重要性について、追記をした。

C) R5年度の実績（事業の実績を示す数値 又は 事業の目標としたものの結果）※市民意識調査の結果は不可とします。

実績の説明	単位	目標値	R5実績値	【参考】R4実績値
①				
②				
③				
● 数値として出せる実績が得られなかった（下記にその理由を記載してください）				
数値結果がない理由	この事業は、庁内ネットワーク環境の整備事業であり、また、2か年事業の1年目であることから、数値として算出することは困難である。			
R5実績は去年と比べて	☐ 向上した ☐ 例年通り ☐ 低下した ☒ その他	左記とした理由 又は 分析等（向上・低下した要因等）： この事業は、庁内ネットワーク環境の整備事業であり、また、令和5年度から実施している2か年事業の1年目であることから、数値として算出することは困難なため。		

D) 分析（令和5年度の実績を踏まえて）

↓ 該当する1つに○をつけてください ↓

①この事業の有効性は

費用対効果（コスパ）、執行体制の状況、手法として最適か 等

○

高かった

普通だった

低かった

①の理由：
自席においてインターネットを利用することは、職員のスキルアップや業務の効率化に不可欠であるため。

②この事業に対する市民のニーズ、反応は

市民の反応等を踏まえて回答してください。

高かった（良かった）

普通であった

○

低かった

②の説明：
庁内業務に関する事業であるため、市民ニーズは高いとは言えない。

③この事業における市民協働・共創の余地は

※「市民協働」及び「共創」については別紙1をご確認ください。

多くの余地がある

余地がある

○

余地がない

③の説明：
庁内ネットワーク環境の整備に関する事業であるため、市民協働・共創とは趣旨が異なる。

④この事業が今後市の類似事業と統合・再構築できるか

※市で行っている類似の事業がある場合のみ回答

可能である

検討の余地がある

○

不可能である

④の説明：
庁内ネットワークを見直すという特定の目的のために実施するものであるため、統合・再構築は困難である。

⑤近隣市の類似事業と比較して充実している事業か

※近隣市に類似する事業がある場合のみ回答

他市より充実している

○

他市と同程度

他市の方が充実

⑤の説明：
近隣市では従前より実施している事業であり、ようやく他市に追いつくような状況であるため、充実しているとは言い難い。

⑥東大和市独自の個性を出している事業か

市の特長、個性を出せる事業である

○

他市と同程度個性はない

⑥の説明：
近隣市では従前より実施している事業であり、ようやく他市に追いつくような状況であるため、個性を出しているとは言い難い。

東大和市 リアルタイム事務事業評価調書③

【 庁内ネットワーク環境の再構築 事業 】 記入日 令和 6 年 3 月 28 日

反省・今後の方向性

A) 来年度以降の課題や見直すべき点		※事業の実施を経て、反省・見直しすべきだと思ったことを記入してください。
①	今年度は2か年事業の1年目であり、順調に推移していることから、今年度と同様に引き続き取り組む。	
②		
③		
④		
⑤		

B) 来年（令和6年度）の取組予定		※事務予定または、改善事項を記入してください。
①	令和6年12月から、職員の自席（マイナンバー系は除く）において、インターネットの利用と無線LANの利用が可能となるよう、事業を進めていく。	
②		
③		
④		
⑤		

C) 上記Bの取組にあたって必要な調整・準備事務等		※記入日時点で必要と考えられる準備事務について記入。
①	特になし。	
②		
③		
④		
⑤		

事業コスト (6 年 3 月 28 日 時点)

予算科目	款	2	事業番号	1	予算名称	情報システム管理・運営事業費
	項	1				
	目	10				

R5予算額及び決算額

※会計年度任用職員に係る経費（報酬等）は記入不要です。

単位：円

R5予算額			R5決算額(暫定)			【参考】R4決算額		
事業費合計		43,736,000	事業費合計		43,672,200	事業費合計		0
積算根拠			積算根拠			積算根拠		
12 委託費		43,736,000	12 委託費		43,672,200			
財源内訳			財源内訳			財源内訳		
一般			一般			一般		
国			国			国		
都			都			都		
市債			市債			市債		
その他		20,000,000	その他		20,000,000	その他		